

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
 プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Bev+PTX
診療科名	乳腺外科
診療科責任者名	福岡 英佑
適応がん種	手術不能または再発乳がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	BR-35
登録日・更新日	2011年10月24日
削除日	
出典	NEJM2007;357:2666
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	アバステン点滴静注用	100,400mg	10mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	90分 *1	Day1,15
	生理食塩液	100mL				
No.2	パクリタキセル	30,100,150mg	80~100mg/m <sup>2</sup>	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	1時間	Day1,8,15
	生理食塩液	250mL				

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能( 日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	70%

減量・中止基準	<p>【減量基準:パクリタキセル】                  以下の毒性のいずれかが発生した場合には一時的に65mg/m<sup>2</sup>に減量する                  ・顆粒球数1000~1500/<math>\mu</math>L未満                  ・血小板数7.5万~10万/<math>\mu</math>L未満                  ・AST 165 IU/L~330 IU/L未満                  ・T-Bil 1.6~2.5mg/dL</p> <p>以下の毒性のいずれかが発生した場合には65mg/m<sup>2</sup>に減量する                  ・持続性の顆粒球減少症                  ・顆粒球減少症をともなう発熱                  ・血小板数4万/<math>\mu</math>L以下の出血                  ・血小板数2万/<math>\mu</math>L以下</p> <p>【投与中止基準:パクリタキセル】                  ・Grade3の末梢神経障害が認められたとき                  →Grade0~1に回復した時点で減量して再開可能                  ・重度の過敏症反応が認められた場合                  ・Grade3~4の末梢神経障害が3週間以上持続する場合                  ・末梢神経障害による減量後にGrade3の末梢神経障害が認められたとき                  →再開不可</p> <p>【投与中止基準:アバステン】                  タンパク尿(2000mg以上/24時間)</p>
前投薬	デキサメタゾン 8mg、ファモチジン 20mg、クロルフェニラミン 10mg 症状に応じてデキサメタゾンは1mgまで減量可
その他の注意事項	*1 忍容性に応じて90分→60分→30分と短縮可能

記入者	安室 修
確認者	佐川 倫子